

SURVIVE

from sexual violence

-each style & our community-



フォトジャーナリスト
大藪順子氏



THEY/WE

—「当事者」と「私」の間にあるもの—

大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター
野坂祐子氏

日時：2008年10月25日(土) 【STAND 写真展】10:00～18:00 【講演会】13:00～18:00
会場：奈良女子大学 大学会館2F 大集会室 参加費：無料 講演会定員：70名(先着順)
お問い合わせ：baj.nakaoka@cc.nara-wu.ac.jp (中岡) 又は 0742-20-3092 (本山研究室)

講師プロフィール

おおやぶ のぶこ
大藪順子



米・コロンビア大学 フォトジャーナリズム専攻卒業。
新聞社勤務の後、フリーフォトジャーナリストとなる。
自身のレイプ被害を通して性暴力サバイバー支援
プロジェクト「STAND」を立ち上げ、全米各地で写真展
及び講演活動を行う。
米・国会における性犯罪防止会議のパネリストや
司法従事者に対するセミナーの講師等としても活動。
全米性暴力調査センター名誉理事。
その後日本でも「STAND」プロジェクトを開催。
AERA、Days Japan、朝日新聞、毎日新聞等に掲載され、
各社報道番組への出演も多数。
著書に、「STAND:立ち上がる選択」(Forest Books 2007)。

のさか さちこ
野坂祐子

お茶の水女子大学大学院修士課程修了、
同大学院博士課程単位取得退学。臨床心理士。
武蔵野大学心理臨床センターにて、犯罪被害者・遺族
へのカウンセリングを行う。
2004年より、大阪教育大学学校危機メンタルサポート
センター専任講師。学校における犯罪や事故時の介入や
支援、トラウマに関する研究に携わる。

研究業績に、
「高校生の性暴力被害実態調査」
「ドメスティック・バイオレンス被害者における精神疾患の
実態と被害体験の及ぼす影響」
「事件・事故のあと—
教師が子どもたちに配慮しなければならないこと」他多数。
著書(共著)に、
「フィールドワークにおけるジェンダー:ジェンダーをともに生
きる<当事者>として」(『あなたは当事者ではない:<当事
者>をめぐる質的心理学研究』北大路書房 2007)」「
性暴力被害を受けた子どもの問題とケア」(『学校トラウマと
子どもの心のケア実践編』誠信書房 2005)」「
中学生の性の意識とジェンダー実践」(『現代のエスプリ』vol
441』至文堂 2004)他多数。